

令和 2 年版情報通信白書の二次利用について

1. 令和 2 年版情報通信白書は、原則として、自由に二次利用できます。

- ・ 令和 2 年版情報通信白書（冊子版、PDF 版、HTML 版および関連して公表されている Excel データ、csv データ、テキストデータ）は、別添 3 の「図表リスト」に掲載されている図表及び第三者の出典が表示されている文章を除き、どなたでも自由に、複製・改変・頒布・公衆送信等の二次利用ができます。商用目的での二次利用も可能です。
- ・ 令和 2 年版情報通信白書に含まれる著作物性のある文章や図表等の著作権は、別添 3 の「図表リスト」に掲載されている図表及び第三者の出典が表示されている文章を除き、国が保有し、総務省が管理しますが、「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示 4.0 国際」に基づき、出典の表示を条件として、自由な二次利用を許諾します。



令和 2 年版情報通信白書 by 総務省 is licensed under a Creative Commons 表示 4.0 国際 License.

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

- ・ 令和 2 年版情報通信白書に含まれる著作物性のない数値データや簡単な表・グラフ等については、著作権が発生しないため、自由な二次利用が可能です。

2. 二次利用に当たっては、出典の表示をお願いします。

- ・ 令和 2 年版情報通信白書に含まれる著作物性のある文章や図表等（別添 3 の「図表リスト」に掲載されている図表及び第三者の出典が表示されている文章を除く）について二次利用を行う際は、上述の「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 4.0 国際」に基づき、出典の表示が必要です。
- ・ 令和 2 年版情報通信白書に含まれる著作物性のない数値データや簡単な表・グラフ等の二次利用については、出典表示の義務はありませんが、任意での出典表示をお願いします。

<出典表示の記載例>

- 著作物性のある文章や図表等を改変せず利用する場合
出典：「令和 2 年版情報通信白書」（総務省）
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/XXXXXX.html>
（該当ページの URL の表記、又は該当ページの URL へのリンク） licensed under CC BY 4.0
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>
- 著作物性のある文章や図表等を改変して利用する場合

出典：「令和2年版情報通信白書」（総務省）より作成
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/XXXXXX.html>
（該当ページの URL の表記、又は該当ページの URL へのリンク）

●著作物性のない数値データや簡単な表・グラフ等を利用する場合
出典：「令和2年版情報通信白書」（総務省）
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/XXXXXX.html>（該当ページの URL の表記、又は該当ページの URL へのリンク）

3. 別添3「図表リスト」に掲載されている図表及び第三者の出典が表示されている文章は、自由な二次利用の対象外です。

- ・別添3の「図表リスト」に掲載されている図表及び第三者の出典が表示されている文章は、第三者が著作権その他の権利を有している可能性があるため、自由な二次利用の対象外です。二次利用する場合は、第三者の権利を侵害することのないよう注意して下さい。
- ・第三者が著作権を有している文章や図表等であっても、著作権者の許諾無く利用できる場合があります。

<著作権者の許諾が不要とされている利用方法>

- ・私的使用のための複製
- ・引用
- ・教育機関での複製 等

詳細は文化庁のホームページをご覧ください。
http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

具体的な利用方法については、文化庁「著作権テキスト～初めて学ぶ人のために～」が参考になります。
http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/r1392388_01.pdf

<お問合せ先>

総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報通信経済室

TEL : 03-5253-5720 FAX:03-5253-5721

E-MAIL : hakusho@soumu.go.jp

令和 2 年版情報通信白書 図表リスト

以下に掲げる図表は、第三者が著作権その他の権利（例：写真につき肖像権・パブリシティ権など）を有している可能性があるため、オープンデータ化の対象外です。二次利用にあたっては、第三者の権利を侵害することのないようご注意ください。

頁数	図表番号	図表タイトル
11	1-1-2-1	移動通信ネットワークの高速化・大容量化の進展
12	1-1-2-2	第一世代移動通信システムの端末
14	1-1-2-6	カメラ付き携帯電話
15	1-1-2-7	iPhone 3G
19	1-1-3-1	IMT ビジョン勧告における 5G の利用シナリオ及び要求条件
20	1-1-3-2	IoT 時代の ICT 基盤である 5G
21	1-1-3-3	ネットワーク・スライシング
23	1-1-3-6	超低遅延通信をサポートする技術：モバイル・エッジ・コンピューティング
30	1-2-2-5	5G の広範な全国展開確保のイメージ
30	1-2-2-6	5G の導入のための特定基地局の開設計画の認定に係る認定書交付式（2019 年 4 月 10 日）
31	1-2-3-1	5G の展開
32	1-2-3-2	携帯電話事業者各社による 5G プレサービス
39	1-3-1-2	5G ネットワークへのサービス提供又は投資を進めている事業者が存在する国（2020 年 3 月時点）
39	1-3-1-3	5G 実証試験（261 件）の周波数帯別割合（2018 年 7 月時点）
39	1-3-1-4	5G 用チップ及び端末の市場投入状況
40	1-3-1-5	4G（LTE）端末と 5G 端末の展開状況の違い
40	1-3-1-6	5G デバイスの数（2020 年 3 月時点）
44	1-3-2-2	Verizon による 5G を利用した FWA サービス “5G Home”
45	1-3-2-4	5G を用いたスポーツライブ映像制作の共同実証実験（Verizon 及び Sony）
46	1-3-2-5	欧州における 5G 周波数の割当て方針
51	1-3-2-11	ドイツテレコムのカンパスネットワーク
52	1-3-2-12	5G+戦略で 10 産業と 5 つのサービス分野を戦略育成
54	1-3-2-14	ソウル市内の地下鉄駅と LG U+ がコラボした 5G AR 活用芸術鑑賞イベント

55	1-3-2-15	5Gに対応した遠隔診療用のCT搭載車（中国国際情報通信展覧会にて撮影）
57	1-3-2-17	中国移動による新型コロナウイルス対策への5G活用
60	コラム1-2	世界におけるICT/IoT製品等の市場規模（2018年）と市場成長率（18/17年）
61	コラム1-3	ICT/IoT製品等の国・地域別市場シェア（2018年）
62	コラム1-4	世界における自動車向けセルラーモジュール市場規模の推移
62	コラム1-5	テレマティクス（ナビゲーション機器）日本企業シェアの推移
62	コラム1-6	世界のゲーム機市場規模の推移
63	コラム1-7	ICT/IoT製品等の世界の市場成長率（18/17年）と日本企業の売上高成長率（18/17年）
63	コラム1-8	ICT/IoT製品等の世界の市場成長率（18/17年）と市場規模（2018年）、日本企業の市場シェア（2018年）
64	コラム1-9	世界における10か国・地域の潜在競争力（R&D拠点数、M&A件数、IoT標準化団体参加企業数）
66	1-4-1-2	世界の動画配信市場規模・契約数の推移及び予測
66	1-4-1-3	世界の音楽配信市場規模・契約数の推移及び予測
66	1-4-1-4	世界のモバイル向けアプリ市場規模の推移及び予測
67	1-4-1-5	世界のデータセンター市場規模の推移及び予測（カテゴリ別）
67	1-4-1-6	世界のデータセンター市場規模の推移及び予測（地域別）
68	1-4-1-7	世界のクラウドサービス市場規模の推移及び予測（カテゴリ別）
68	1-4-1-8	世界のクラウドサービス市場規模の推移及び予測（地域別）
69	1-4-1-9	世界の固定ブロードバンドサービス契約数の推移及び予測
69	1-4-1-10	世界の移動体通信サービス契約数の推移及び予測
70	1-4-1-11	世界のルータ・スイッチ市場規模の推移と予測（カテゴリ別）
70	1-4-1-12	世界のルータ・スイッチ市場規模の推移と予測（地域別）
70	1-4-1-13	世界の光伝送機器市場規模の推移と予測
71	1-4-1-14	世界の仮想化ソフトウェア・ハードウェア市場規模の推移と予測（カテゴリ別）
71	1-4-1-15	世界の仮想化ソフトウェア・ハードウェア市場規模の推移と予測（地域別）
71	1-4-1-16	世界のFTTH機器市場規模の推移と予測
72	1-4-1-17	世界のマクロセル基地局市場規模の推移及び予測
72	1-4-1-18	世界のsmallセル市場規模の推移及び予測
73	1-4-1-19	世界のLPWA-モジュール出荷台数推移及び予測

73	1-4-1-20	世界の LPWA-接続収入推移及び予測
74	1-4-1-21	世界のスマートフォン市場規模・出荷台数の推移及び予測
74	1-4-1-22	世界のタブレット市場規模・出荷台数の推移及び予測
74	1-4-1-23	世界のウェアラブル端末市場規模の推移及び予測
75	1-4-1-24	世界のロボット家電・コンシューマ向けロボット市場規模の推移及び予測
75	1-4-1-25	世界のドローン市場規模の推移及び予測
75	1-4-1-26	世界の AI スピーカー（スマートスピーカー）出荷台数の推移及び予測
76	1-4-1-27	世界の AR/VR 市場規模等の推移及び予測
76	1-4-1-28	世界の IOT デバイス数の推移及び予測
77	1-4-1-29	分野・産業別の世界の IOT デバイス数及び成長率予測
78	1-4-1-30	世界市場におけるシェアの変化（スマートフォン・マクロセル基地局）
79	1-4-1-31	国内市場におけるシェアの変化（スマートフォン・マクロセル基地局）
80	1-4-1-32	モバイル回線全体に占める 5G 回線比率の予測
80	1-4-1-34	規格別携帯電話契約数の予測
81	1-4-1-35	携帯電話端末の販売台数と予測（日本国内）
81	1-4-1-36	携帯電話端末で用いる回線数の予測（日本国内）
89	1-4-2-6	モバイル市場の端末レイヤーにおけるエコシステムの変化
93	1-4-2-15	世界のユーザ企業の IoT ソリューションの導入理由
93	1-4-2-16	IoT ソリューションの市場規模（グローバル）
94	1-4-2-17	世界の IoT プラットフォーム市場規模の予測（プラットフォーム利用料等の収益合計）
94	1-4-2-18	世界の IoT プラットフォーム市場における提供事業者の推移
95	1-4-2-19	対象分野・産業別の IoT プラットフォーム数
95	1-4-2-20	IoT プラットフォームの市場シェアの推移
95	1-4-2-21	Siemens の IoT プラットフォーム “MindSphere”
96	1-4-2-22	IoT プラットフォームのエコシステムの規模（パートナー企業数）
98	コラム 2-1	ICT/IoT 製品の地域別市場シェア等（2018 年）
98	コラム 2-2	最終製品別中間財（半導体）調達金額（2018 年）
99	コラム 2-3	ICT 製品及び中間財（パネル）の国・地域別市場シェア（2018 年）
99	コラム 2-4	最終製品及び中間財（パネル）売上高（2018 年）
99	コラム 2-5	スマートフォンの例

100	コラム 2-6	iPhone 11proMax (2019) の部品単価
101	コラム 2-7	iPhone 11 Pro Max の部品単価による各国・地域別付加価値シェア
102	コラム 2-8	ICT 関連材の比較優位指数の推移 (2007 年~2018 年)
106	2-1-1-3	米国の橋梁数 (建設年別)
107	2-1-1-4	世界のマグニチュード 6 以上の震源分布とプレート境界 (2010 年~2019 年)
107	2-1-1-5	災害による被害額 (億ドル)
111	2-1-2-6	信州リゾートテレワーク対応施設マップ
113	2-1-2-9	理想と思う仕事
113	2-1-2-10	生活者の今後の生活の力点
114	2-1-2-11	日本 E スポーツ市場規模
114	2-1-2-12	関西初の E スポーツ観戦バー「BAR DE GOZAR」の店内
115	2-1-2-13	建設後 50 年以上経過する社会資本の割合
115	2-1-2-14	道路種別別橋梁数
115	2-1-2-15	市区町村における橋梁保全業務に携わる土木技術者数
116	2-1-2-16	我が国における近年の甚大災害発生状況 (2014 年以降)
117	2-1-2-17	「ちばレポ」のシステム構成
119	2-1-2-19	神戸市の推計人口
119	2-1-2-20	URBAN INNOVATION JAPAN 概要
120	2-1-2-21	スマートシティたかまつシステム全体イメージ
121	2-1-2-22	スマートシティたかまつの実現
127	2-2-2-4	汎用型アバターロボット事例
129	2-2-2-7	顔認証ゲート導入空港一覧 (2019 年度)
129	2-2-2-8	東京 2020 大会で採用される顔認証システム
130	2-2-2-9	任意背景リアルタイム被写体抽出技術
131	2-2-2-10	HARUMI AI AEMS
131	2-2-2-11	AI による電力供給予測
132	2-2-2-12	各国のキャッシュレス比率比較 (2017 年)
132	2-2-2-13	キャッシュレス決済手段
133	2-2-2-14	キャッシュレス決済パターン
134	2-2-2-16	キャッシュレス支払 (クレジットカード) を導入しない理由
135	2-2-2-17	還元事業による支払手段の変化 年代別
136	2-2-2-18	還元事業によるキャッシュレス利用頻度 時系列比較 決済手段別
136	2-2-2-19	還元事業によるキャッシュレス導入 地域区分別
139	2-3-1-1	パンデミック発生時の情報伝達力の推移

140	2-3-1-2	新型コロナウイルスの日本国内での感染で心配な点
141	2-3-1-3	内閣官房-新型コロナウイルス感染症対策ウェブサイト
142	2-3-1-4	東京都の新型コロナウイルス感染症対策サイト
143	2-3-1-5	企業の無償支援情報の標準データ化と公開に関するスキーム
146	2-3-1-9	第1回調査結果例「新型コロナ感染予防のためにしていること（複数回答）」
147	2-3-1-10	プラットフォーム事業者7社による共同声明
150	2-3-2-2	勤務先からのテレワーク実施（在宅勤務に限る）の指示の有無
150	2-3-2-3	感染症対策としてのテレワーク（在宅勤務に限る）の実施有無
151	2-3-2-4	テレワーク（在宅勤務に限る）を実施してみて問題があったこと
151	2-3-2-5	3月と4月のテレワーク実施率
152	2-3-2-6	地域別の3月と4月のテレワーク実施率
152	2-3-2-7	収束後もテレワークを行いたいのか(2020年5月時点)
154	2-3-2-9	MICROSOFT-TEAMSでの1日あたりの会議時間（分）
154	2-3-2-10	初等中等教育の遠隔教育の実施状況（2019年3月現在、N=1,815自治体）
155	2-3-2-11	遠隔授業の活用に関する検討状況（5月12日20時00分時点）
157	2-3-2-14	放送事業者の新型コロナウイルスによる臨時休校に対する教育支援
158	2-3-2-15	遠隔健康医療相談サービスに対する満足度（2020年2月10日-26日、0-10点で判断）
160	2-3-2-16	WEBセミナーの視聴経験（各年4月調査）
163	2-3-3-1	各国における接触確認アプリの比較（プライバシーと公衆衛生のバランス）
164	2-3-3-2	昼間通信量の推移
165	2-3-3-3	電子契約の利用状況
179	2-4-3-8	レイアウトフリー生産ライン（イメージ）
180	2-4-3-9	ハイブリッド5Gの活用（三菱電機・NEC）
184	2-4-3-12	遠隔監視の取組事例（KDDI）
191	2-4-4-4	地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証
193	2-4-4-6	Boschのローカルキャンパスネットワーク
195	インタビュー	株式会社meleap 福田浩士 CEO氏
195	インタビュー 1	HADO ロゴ
196	インタビュー 2	HADO Xball
198	コラム 3-1	LITALICO ワンダーのものづくり空間
198	コラム 3-2	N Code Labo の学びの領域
199	コラム 3-3	学研「もののしくみ研究室」で使用される教材

201	3-1-1-2	IP トラフィックの推移
202	3-1-1-4	モバイル経由でのデータ通信量の推移（デバイス別）
202	3-1-2-1	世界の動画配信及び音楽配信の市場規模・契約数の推移及び予測（再掲）
203	3-1-2-2	カテゴリー別のトラフィックのシェア
203	3-1-2-3	カテゴリーごとの移動通信のトラフィック量の予測
203	3-1-2-4	世界の LPWA モジュールの出荷台数推移及び予測（再掲）
204	3-1-2-5	モバイル経由でのデータ通信量の推移（世代別）
205	3-1-4-1	越境データ流通量の推移
206	3-1-4-2	海底ケーブルの敷設状況（2019 年時点）
207	3-1-4-4	米国のコンテンツプロバイダーによる海底ケーブル敷設計画
207	3-1-4-5	事業者の種別ごとの海底ケーブルの利用量
210	3-1-4-10	CBPR の概念図
226	3-2-1-17	OMNIedge のサービス概要
232	3-2-3-3	オープンデータを活用した新型コロナウイルス感染症対策の例（空き病床数の可視化）
234	3-3-1-1	情報銀行とは
235	3-3-1-2	日本 IT 団体連盟による情報銀行の認定状況
235	3-3-1-3	マイデータ・インテリジェンスによる情報銀行サービスの概要
237	3-3-1-5	J. SCORE による情報銀行サービスの概要
237	3-3-1-6	諸外国におけるパーソナルデータ利活用の例
256	3-3-4-10	JCB 消費 NOW の作成手順のイメージ
257	3-3-4-11	NTT テクノクロスの提供する匿名加工情報の作成ソフトウェア
260	3-4-1-2	情報セキュリティ 10 大脅威 2020「個人」及び「組織」向けの脅威の順位
261	3-4-1-3	Emotet 感染拡大の流れ
262	3-4-1-4	フィッシング報告件数
262	3-4-1-5	インターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生件数及び被害額の推移
263	3-4-1-6	フィッシング詐欺によるワンタイムパスワード突破の概要
264	3-4-1-8	セキュリティインシデントによる年間平均被害総額
266	3-4-3-1	過去の大会におけるサイバー攻撃
268	3-4-4-1	米国における中国企業規制の動き
271	3-4-5-3	自社で最も脅威となる事象（最大 3 つ選択）
272	3-4-5-4	セキュリティ対策の実施状況
274	3-4-5-7	セキュリティ対策に従事する人材の充足状況

274	3-4-5-8	日本企業におけるセキュリティ人材の育成・教育における課題
275	3-4-6-1	セキュリティ事案及び重大被害の発生率
282	コラム 5-9	日本通運の取組の概要
325	5-1-8-3	地上系民間基幹放送事業者の広告費の推移
326	5-1-8-6	民間地上テレビジョン放送の視聴可能なチャンネル数（2019年度）
385	6-1-2-1	2020年に向けた社会全体のICT化 アクションプラン 概要
387	6-1-2-4	IOT機器等の電波利用システムの適正な利用のためのICT人材育成事業
388	6-1-2-5	地方公共団体職員向けオープンデータ研修について
412	6-3-2-2	各国・地域の5G推進団体
413	6-3-2-3	ローカル5Gの利用イメージ
415	6-3-2-6	2025年完全自動運転を見据えた市場化・サービス実現のシナリオ
416	6-3-2-7	共同利用型の公共安全LTEの創設 実現イメージ
419	6-3-3-2	医療機関における電波遮へい事業のスキーム図
438	6-5-2-2	「Mirai」による大規模サイバー攻撃
439	6-5-2-3	NOTICE及びNICTERに関する注意喚起の概要
440	6-5-2-4	実践的サイバー防御演習（CYDER：CYber Defense Exercise with Recurrence）
446	6-6-1-2	医療等分野におけるネットワーク化の推進
447	6-6-1-4	医療・介護・健康分野における先導的ICT利活用研究推進
448	6-6-1-5	テレワーク導入への主な課題
456	6-6-2-3	スマートシティ共通アーキテクチャ（設計思想）のイメージ
459	6-6-2-6	ICT地域活性化大賞（総務大臣賞）
471	6-7-2-1	革新的光ネットワーク技術のイメージ
472	6-7-2-2	革新的AIネットワーク統合基盤技術のイメージ
474	6-7-2-5	高度対話エージェント技術のイメージ
479	6-7-6-1	高分解能三次元イメージングによる構造物の形状把握
480	宇宙天気予報について 図表1	宇宙天気の概要
481	宇宙天気予報について 図表3	NICTのHP
500	6-9-1-3	革新的ビックデータ処理技術導入推進事業（AI） 実証団体概要
503	6-9-2-1	ICTユニットの概要